

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	公衆衛生看護展開論				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.9	5.0	4.7	5.0	
学生へのメッセージ					
『公衆衛生看護展開論』は、毎年、限られた時間の中で、沢山の分野の内容を盛り込む必要があり、ボリュームの大きい科目ですが、毎回、しっかり真面目に授業を受講されました。「間違っているかも…」と思って発言をしなくなることを防ぎたかったので、思いが伝わったようで良かったです。『公衆衛生看護展開論演習』とのつながりも大きく、『公衆衛生看護展開論』の授業資料を活用されました。この調子で実習も頑張ってくださいと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	公衆衛生看護展開論演習				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.9	5.0	4.9	5.0	
学生へのメッセージ					
『公衆衛生看護展開論演習』は、暑さ対策もあって昨年度と内容の順番を変えました。そのため、授業の最初からパソコンを用いた演習が始まり、慣れない Excel 操作に苦戦されたと思いますが、必ず活きる時がきます（少なくとも来年の実習で活きます！）。演習中、多様な考えが出て来て、面白かったです。自由な発想、諦めない心、信念をもって、これからも頑張ってください。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	4		
科 目 名	公衆衛生看護管理論				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.4	4.5	4.3	4.2	
学生へのメッセージ					
『公衆衛生看護管理論』は、『課題別総合実習』の臨地実習までに8回授業を終了する必要がある、とても短い期間で、補講を含めて実施しなくてはなりません。そして、講義科目ではありますが、公衆衛生看護の実習が目前となっていましたので、毎回、演習要素を入れました。そのため、授業終わりに、次回のグループワーク課題を提示し、manabaでも予告し、自己学習の助けになるようにしました。ただ、自己学習時間が少なかったことが意外で、残念でした。事前学習（反転学習）を有効活用できることが課題であろうと思います。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	看護対象論Ⅴ				
担 当 者	横山利枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.0	4.4	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
この授業は、小児看護学概論で学んだ子どもの成長発達の特徴や小児看護の対象となる子どもと家族、それらを取り巻く環境を通して、子どもの健やかな成長発達を促すために必要な日常生活支援について学ぶことを目標にしています。 子どもの持つ力と健やかな成長発達を促すために必要な日常生活への関りや看護の役割について考えてほしいと思っています。また、子どもに特徴的な症状について学び、子どもの健康状態をアセスメントするために必要な知識を理解して、次に学ぶ小児援助論、母子支援実習Ⅰにつながるように考えています。 事前課題をもとに予習をして授業に臨み、事後課題で授業の内容の復習をし、理解を深めることができていたと思います。事前課題、事後課題を何のために行っているのかを考えて主体的に計画的に学習ができればと思います。 また、子どもの理解を深めることを目的に健康教育を取り入れました。各グループで協力し、教材を作成し、子どもが健康に過ごすために必要な知識をどのように伝えるのがいいのか、時間的にも制約がありましたが各グループが工夫をして発表ができ、成果がみられたと思います。目的を達成するためにグループで協力し、自己の役割や状況を判断して行動して取り組んでいたと思います。健康教育については、3年次の母子支援実習Ⅰの保育施設で実際に子どもを対象に実施します。さらにブラッシュアップして子ども達と共に楽しく学べることを期待しています。 これらの学びを大切に、次の学習につなげ深めてください。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	臨床検査総論				
担 当 者	溝越 祐志				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.5	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
8 回分の講義お疲れ様でした。臨床検査に関する授業内容はいかがでしたでしょうか。皆さんにとっては専門外であり、馴染みがない分野に少し戸惑ったかもしれません。患者さんをケアするため、実技だけでなく人の心理面など、多岐にわたる分野を修得しなければならない皆様は大変であり偉大だと、看護学科のシラバスを眺めながら感じていました。そのような皆様にとって、今回の分野は主軸を置くようなものではないと思います。ただ、もし余裕がある場合は、患者さんの症状が体内のどのような変化の結果、起きているかを考えるようにしてみてください。体内の変化を考える力がつけば、患者さんをケアするうえでもとても役に立つと思います。 「・レジュメが分かりやすかった。」というコメントをいただきました。今後も両教員ども、資料のブラッシュアップに努め、よりわかりやすい授業を展開できるように精進したいと思います。 改善点としてはコメントがなかったので、肯定的に捉えておこうと思います。検査値というものは、知識として知るだけでなく、その知識を利用、応用して病態を考えて初めて有用なものとして使われるものと考えています。検査値から病態を推察することはとても難しいことと思いますが、仕事をしていくうえで、看護師がその力を持っていると、他の人と比べて大きなアドバンテージになると思います。ぜひこの授業の単位のための知識ではなく、働くうえでの知識として、今後検査値の意味を頭に定着していただけると嬉しいです。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	情報基礎 N 科				
担 当 者	山岡紀子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.5	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
授業評価調査にご協力いただき、ありがとうございました。 第1回から最終授業まで、皆さん熱心に課題に取り組む姿が印象に残っています。 学内システムや遠隔授業など慣れないことも多かったと思いますが、分からないことをそのままにせず積極的に質問する学習姿勢に感心しました。 本授業において改善すべき点についてのご提案等はありませんでしたが、看護学科の学生さんに必要なスキルを的確に教授するため、授業のさらなる向上に努めます。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	保健医療福祉総論				
担 当 者	山岡紀子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.4	4.6	4.6	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
授業評価調査にご協力いただき、ありがとうございました。 調査結果では一定の評価をいただきましたが、やはり本科目は法律や制度などの「とっつきにくい」内容が多いことを実感しました。しかし同時に、そのような科目であっても授業内容を聞き逃すまいと一生懸命に聞いている学生さんの姿を思い出すコメントもいただき、うれしく思っています。 授業改善のため「ポインターをつけて説明して欲しい」とのご提案をいただき、感謝いたします。パワーポイントでは、スライドを拡大するとポインター機能が使用できないので、この時の説明が分かりにくかったのだと推察します。今後はレーザーポインターの使用を検討いたします。 今後も「とっつきにくい」内容に親しみを持てる授業を目指し、内容の向上に努めます。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	看護研究方法論				
担 当 者	堀 理江				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.5	4.7	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
皆さんがまだ経験したこともない、研究方法を学ぶ授業は、理解困難で苦手意識もあったと思います。それでも皆さんが真摯に学ぼうとする姿を見て、教える側ももっと分かりやすくできないかと思惑錯誤しました。いますぐ役に立つ授業ではありませんが、将来きっと役立つときが来ます。授業前と15回の授業後では、皆さんの研究に関する知識が増え、文献を読む力がついたことを実感しました。くじけずに15回の授業を受けてもらえてありがたく思います。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	緩和ケア				
担 当 者	堀 理江				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.8	4.7	4.7	4.8	
学生へのメッセージ					
8 回の授業でしたので、課題等を課す時間がなく、皆さんが主体的に学ぶというよりは教授型の講義になりました。その中でも、緩和ケアの大事な要素を学んでくださった方が多かったと思います。臨床では、症状緩和が必要な患者さまに多く出会います。授業内で触れた内容はどれも症状を緩和するためには必要な知識ですので、まずは実習で役立ててください。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	小児援助論				
担 当 者	尾崎優子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	3.9	3.8	4.1	3.9	
学生へのメッセージ					
小児援助論の授業、お疲れさまでした。 多くの課題が平行する中で、とても大変だったと思います。よく頑張りました。 小児看護は、発達段階の違いや全診療科の子どもを対象とすること、家族も看護の対象であることから、習得しなければならない知識や技術が多くなります。臨地実習のことを考え、よりリアリティのある演習や講義にと工夫しましたが、そのリアリティさが逆にわかりにくさにもつながったのかもしれませんが、でも皆さんは、この前期の間に大きく成長されたと思いますし、臨地実習の準備ができたのではないかと確信しています。実習では、相手の為に自分なりにしっかりと考え抜いて実践してください。頂いたご意見は今後の授業改善に活かしていきます。 ありがとうございました。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	教育原論				
担 当 者	光成 研一郎				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.5	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
久しぶりに看護学科の授業を担当させていただきましたが、皆さん前向きで、さすが養護教諭を希望する学生さんは素敵だな！と思わせてくれる学生さんばかりでした。授業評価も好意的な意見ばかりで、恐縮です。皆さんがこどもから頼りにされる看護師、養護教諭になることを願っております。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	精神援助論				
担 当 者	江口実希				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.2	4.3	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
本講義では、これまでに学んできた「精神看護学概論」や「精神看護特性論」の内容をふまえ、それらを対象理解にどのように活用できるかを中心に演習を行いました。 ミニノート（事前課題）や講義課題の提出は必須とはしませんでした。その分、自主的に自宅学習へ取り組んでくれたのではないかと思います。 実習においては、対象理解を基盤として対象への援助を行うことがとても大切です。今回の授業で学んだ「対象を理解する視点や方法」を、ぜひ後期の実習で活かしてみてください。 また、疑問点や不安なことがあれば、気軽に教員へ声をかけてください。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	4		
科 目 名	医療英語				
担 当 者	山崎麻由美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.7	4.7	4.8	4.7	
学生へのメッセージ					
全員が意欲的に授業に取り組んでくれました。積極的に参加し、復習や予習にも取り組んでいました。テキストの表現も完ぺきに身につけることができましたと思います。臨床現場に必要な患者さんとのやり取りは、自分の語学力で十分伝えることができると実感してもらえたでしょうか？臨床現場で英語でやり取りをしなければいけない時が来ても、皆さんなら問題なくコミュニケーションが取れます。自信をもってください。前向きに学ぼうとする皆さんと授業ができて、私自身も「医療英語」の授業を楽しく担当することができました。 本年度使用したテキストは今後も役に立つことと思います。時間を作ってふりかえってみてください。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	教育社会学				
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.6	4.6	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価に協力していただいたみなさん、ありがとうございました。 この科目は教職課程科目ですので、通常の看護過程に加えた授業で、さぞ大変だったと思います。さらにこの授業は、入学後に突然「教える」⇔「教えられる」という立場を共に経験する内容ですので、おそらくチャレンジングで、授業準備にも苦労されたことでしょう。しかし、ほとんどの人が最後まで主体的にチームにコミットした結果、とても前向きな授業になったと思っています。よくがんばりました！こちらもみなさんの授業を聞いて楽しかったです。 看護と教職課程とのダブルライセンス取得は忙しいと思いますが、主体性をもって夢の実現のためにがんばってください。教職で学んだことが、必ず看護分野でも役に立つはずですし、その逆もまた真なりです。応援しています。 養護教職課程では引き続き担当させていただきますので、またお会いしましょう。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	家族看護学				
担 当 者	鈴木志津枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.8	4.1	4.2	4.1	4.3	
学生へのメッセージ					
履修された学生の皆様 授業評価をしていただきありがとうございました。 評価結果は、全般的に学科平均よりも 0.2～0.3 点低いという結果でした。 〈今後に向けての改善に関して〉 1. 授業以外の学習時間の少なさに関して：課題としてレポートの提出や小テストを実施することで授業以外の学習時間をもっていただこうと考えていましたが、今回の評価で授業以外の学習時間が学科平均よりもかなり少ないという結果になりました。自己学習の意欲がわくような工夫が必要であると考えます。 2. 授業方法に関して：昨年度も話し方や授業資料に関する意見があり、話し方や資料の作成に関して気をつけたつもりでしたが、聞きやすさや分かりやすさの点で十分でなかったと考えます。再度、工夫していききたいと思います。 3. 学修成果に関して：家族看護に関する様々な理論に関して具体例を活用しながら説明したり、グループワークでの話し合いを用いたりすることで、理解を深められるようにしましたが、十分ではなかったと考えます。授業の展開の仕方を再度、検討します。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	看護倫理Ⅰ				
担 当 者	鈴木志津枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.4	4.4	4.3	4.4	
学生へのメッセージ					
授業評価をしてくださった 80 名の学生の皆様 授業評価をしていただきありがとうございました。 授業評価の結果は、全般的に学科平均と同じか、0.1～0.2 ポイント低い結果でした。 〈今後に向けての改善に関して〉 1. 授業以外の学習時間の少なさに関して：課題としてレポートの提出や小テストを実施することで授業以外の学習時間をもっていただこうと考えていましたが、今回の評価で授業以外の学習時間が学科平均よりもかなり少ないという結果になりました。自己学習の意欲がわくような工夫が必要であると考えます。 2. 授業方法に関して：看護倫理のさまざまな概念に関して、事例の活用やグループワークを用いた授業方法に関しては、肯定的な意見がありました。次年度以降も、できるだけ理解しやすいように工夫していきたいと考えます。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	法と看護				
担 当 者	鈴木志津枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.2	4.4	4.2	4.4	
学生へのメッセージ					
授業評価をしてくださった学生の皆様 授業評価をしていただきありがとうございました。 授業評価の結果は、全般的に学科平均に比較して 0.1～0.3 ポイント低い結果でした。 〈今後に向けての改善に関して〉 1. 授業以外の学習時間の少なさに関して：課題としてレポートの提出や小テストを実施することで授業以外の学習時間をもっといただこうと考えていましたが、今回の評価で授業以外の学習時間が学科平均よりもかなり少ないという結果になりました。定期的に課題を提出してもらうことや自己学習の意欲がわくような課題の考案が必要であると思います。 2. 授業内容に関して：授業はわかりやすい内容であったかという設問に対して 1 点（そう思わない）を付けた方がいましたが、毎回の受講レポートに記載していただけなかったため、対応ができず申し訳なかったと思います。次年度以降、分かりやすい内容に心がけていきたいと思います。 3. 授業方法に関して：授業のパワーポイントの字の小ささや多さに関するご意見がありました。昨年度よりも文字数や字の大きさを改善したつもりでしたが、まだ十分改善されていなかったようです。次年度に向けて改善をしていきたいと考えます。授業内容に関連した国家試験問題を授業の中で活用しましたが、もっと考える時間が欲しいというご意見に対して、次年度以降、時間配分を考えたいと思います。					